



幸樹

こう じゅ

第97号

2023年4月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785
あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559
あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558
ケアステーションゆず ☎047-701-5506
看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331
幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵・高橋 聖大

岩田幸子さんに聞きました

いつも笑顔で、周りの方を気遣ってくれます。
洗濯物をきれいにたたんでくれる几帳面な岩田幸子さん
にお話を聞きました。

(聞き手：さんしょう介護福祉士 宮田敬子)

東京都足立区に 5 人兄妹の 2 番目、長女として生まれました。小学生の頃、一時、埼玉県加須へ疎開をしたそうです。23 歳で結婚し松戸へ転居され、息子さんと娘さんが生まれました。習い事で始めた和裁・洋裁でしたが、先生の手伝いをするようになり、その後仕事になったそうです。30 歳代後半より子供と山歩きを始め、その後サークルに入り登山もされ、70 歳代まで軽登山を楽しまれました。40 歳代からはマラソンを始め、地域に“楽走会”という会があり朝集まってジョギングをしていたそうです。その会で青梅マラソンにも参加しました。若い時から、旅行が好きでよく行かれていました。夫が亡くなったからは特に海外旅行に行かれたそうで、ニュージーランド、カナダ、スイス、香港…と行った国の名前が数えきれないほど出てきました。

60 歳代から園芸を始め、自宅の庭にはたくさんの花や木が植えられています。ご自宅に伺った時は、椿がきれいに咲いていました。

脳出血で入院するまでは、何駅か先の公園まで散歩され往復できていたそうです。私でもなかなか辛い距離なので驚きました。

退院後は筋力、体力が落ち歩行にもふらつきが見られ娘さんも心配だったそうですが、自宅に戻ってから毎日足の筋トレを行っているそうです。今ではふらつきもなく元気に歩かれ、階段も気を付けながらスイスイ上がって行きます。時には小走りする姿も見られます。この日は、入浴で訪問しました。脱衣所で更衣介助している時、棚につかまりながら片足立ちを数秒され、私はすごいですね！と、言い驚きました。

入院前は息子さんが住む京都へ度々行かれ楽しみにしていたそうですが、今はまだ行けていないそうです。



また京都に行きたいねと娘さんが言うと笑顔でうなずかれています。

アルツハイマー型認知症があり、なかなか言葉が出てこない場面もありましたが、娘さんが問いかけるとそうねと、笑顔で返してくれていました。

たくさんの趣味をお持ちの岩田さん、自宅で娘さんと元気に好きなことを楽しみながら過ごしてほしいです。そのためにもさんしょうでお手伝いしていきたいと思えます。

看多機さんしょうの見学研修の感想

千葉健愛会あおぞら診療所で在宅医療研修をされている研修医の方が、看多機さんしょうを見学研修をされ、感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

虎の門病院 内科研修医 2年 松下友哉

先日は貴重なお時間を頂戴し、研修させていただきました誠にありがとうございました。自分自身は先月まで在宅診療及び在宅・院内問わず看護の現場というものについて、ほとんど触れていなかったため、実情がよく分かっておりませんでした。しかしながら、ここ半月であおぞら診療所の方で、在宅診療の空気感について触れさせていただき、その実際の現場について大まかな理解を持った上で、貴施設にて実習をさせていただきました。訪問看護の同行では、患者の服薬アドヒアランスを上昇させるために、服薬カレンダーへの薬のセットや飲み忘れのチェック、飲み忘れの原因について検索し、患者と飲み忘れを防ぐための改善策を模索する様子や、実際の飲み忘れの回数を医師が把握できるような気配りといったことや患者の細やかな体調の変化、医学的なこと以外の困りごとについての情報収集などを見学させていただきました。普段病棟で勤務し患者の実際の生活からは最も遠いところで働いている自分にとって、最も患者の生活に近いところで医療と患者の生活をつなぎ、医者が意図した治療が行われるように、また医者が気付けないが治療に反映させるべきことを医者が気付けるようしてくださっている訪問看護の現場を拝見させていただき、このような働きがあり治療が成り立っているんだと、大変有意義な知識を学ぶことができました。また、看護小規模多機能型居宅介護の実際を拝見させていただいたことで、これまでは MSW の方にお任せしてしまっていた「退院させる際にどの程度の ADL であれば、どのような家族構成であれば、どのくらいの認知機能であれば、どのようなサービスが必要になるか」ということについておおまかではありますが、理解することができました。特に看護小規模多機能型居宅介護は、介護の必要度が(ひいては医学的必要度が)比較的高く、また介護力不足などの問題を抱える方でも、住み慣れた地域で最期を迎えるために必要なサービスを全て、それも臨機応援に提供することができる、優れた制度であると認識することができました。大変有意義な研修をさせていただきました、誠にありがとうございました。

新管理者紹介

ケアステーションゆず 所長 加藤洋子



3月1日より管理者に就任しました。今までは「さんしょう」に居り、3月より「ゆず」に参りました。利用者さんが自分らしく生きるお手伝いをするということは変わりませんが、「ゆず」は訪問介護で住み慣れた家で過ごすことを支援するといった点が少し違うかもしれません。訪問をした者が、その方の暮らしている環境の中で、気づき、考え、利用者さんにとって最も良い援助を行っていくという、介護の専門家としての力が試される仕事でもあります。とはいえ、幸樹会には、看護師、ケアマネ、リハビリ職員、薬剤師等、様々な専門家が同じ屋根の下にいてくれます。それぞれの立場からの意見や知恵がもらえます。素晴らしいチーム介護力です。私は、そこのひとつである「訪問介護を主とする介護」という分野で、新たな仲間と共に、2年間「看多機能さんしょう」で培った力を活かして駆け回りたいと思っています。初心者マーク付きで、戸惑いもありますが、気負うことなく、メンバーと助け合いながら利用者さんとの笑顔の日々を目指します。

あんず居宅支援事業所 所長 岩橋多恵子

4月1日よりあんず居宅介護支援事業所の管理者に就かせていただきます岩橋多恵子と申します。幸樹会に入職して丸5年となる節目に、また新たな気持ちで利用者さん・ご家族・地域の方々のために誠心誠意取り組んで参りたいと思います。今後ともお力添えをいただきますよう、よろしくお願いたします。



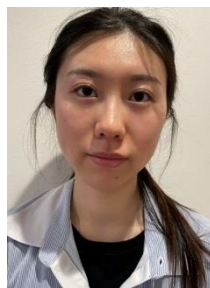
介護福祉士試験に合格した三人の声を聞きました。

看多機さんしょう 介護福祉士 柿崎皓祐



2020年に入職後、松戸市の介護人材育成事業を使って初任者研修を受けて介護職員として働いてきました。そして3年働き、介護福祉士試験の受験資格を満たしたことで、今年1月末に行われた介護福祉士試験を受験し合格しました。未経験でこの業界についてなにも知らないで飛び込みましたが、優しい先輩や職場のみなさんにいろいろ教えていただいたおかげで最短で試験に合格することが出来たと嬉しく思っています。この職場はアットホームな環境で、ご利用者との距離がとても近いため会話などのコミュニケーションを通じての関係作りを大事にしています。介護福祉士として、なんでも相談しやすく家族のような付き合いができるようになりたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

看多機さんしょう 介護福祉士 ロイヒ



私は、今年3月、千住介護福祉専門学校を卒業しました。卒業前に年に一度の介護福祉士の国家試験を受け、合格できて良かったです。特に私は、千葉県からの修学資金を利用し、幸樹会が良い生活環境を提供してくれたことに感謝しています。学校で色々な科目の授業を受け、専門的知識や技術を学んで、過去の試験の問題集をやつて、出来なかったところは間違った原因を考えました。脳力だけで勉強するのではなく、さんしょうの現場で実際に経験したことも、合格に欠かせないことだったと思いました。4月から正社員になって介護の仕事ができることになったので、もっと力を入れます。観察・報告・相談を心がけます。自分の体調管理を怠りません。利用者者に最適なケアを考えます。向上心を忘れません。マナーを守って支援します。最初は母の影響で介護の仕事を始めました。自分も利用者の喜び顔を見るたびに、やりがいを感じる事ができました。私は利用者に対して優しく安全に介護ができるような介護福祉士になりたいと思います。

看多機さんしょう 介護福祉士 河本望

介護福祉士に合格したことの喜び。三度目の正直でやっと合格したことをうれしく思います。まさか、自分が合格するなんて思っていなかったので不思議な気持ちです。今後の抱負としては、今までと同じ気持ちで頑張ろうと思っています。



今の時間を大切に、幸樹会に育てていただいたことに感謝しつつ、進んでいけたらと思っています。こんな私ですが、今後ともよろしくお願いたします。

理学療法士



ココロ

あんず訪問看護・理学療法士 平将一

幸樹会の理学療法士は利用者のご自宅で訪問リハビリを、看多機さんしょう利用者に対してはさんしょう内でリハビリを行っています。

ご自宅でのリハビリでは身体機能の維持・向上に向けた運動療法の実施に加え、基本動作練習や日常生活動作練習、環境整備や介助方法の助言、社会参加支援を行っています。例えば歩くことが苦手な方に対しては、寝室とトイレを結ぶ動線での歩行練習や、歩行器や杖の導入、手すりの設置の提案、家族への介助方法の指導等を行います。歩行機会がリハビリ時間だけに留まらないよう、歩行が出来るようになったら何が出来るのか、何を行いたいのかを確認し、生活の中で歩行が出来るように目標を立ててリハビリを実施しています。

リハビリと聞くと‘運動’と捉える方が多いですが、運動の実施だけでなく先を見据えた支援を行えることが訪問リハビリの利点であると考えています。微力ですがこれからも利用者さんの生活の質が上がるよう支援をしていきます。

リハビリの視点で福祉用具も

また、リハビリスタッフは、「介護ショップからたち」における福祉用具貸与業務を担当しています。

福祉用具の選定はケアマネージャーや関係者から頂いた情報を基に行っています。例えば車椅子の貸与では、使用者の体格、移乗の自立度、自走か介助か、使用場所や使用頻度、使用時間などの確認が最低限必要となります。事前に利用者さんと直接お会いできればよいのですが、なかなかそうともいきません。リハビリは何度も利用者さんと接する中で身体機能や動作能力の評価が行えますが、福祉用具貸与では少ない情報の中から用具の選定が必要となってきます。事前情報のみでの選定は難しいですが、適切な福祉用具が導入されると利用者さんの自立度が向上するやりがいのある仕事です。法人負担で外部研修も受講し、福祉用具プランナーの資格も取得。リハビリの視点にプラスして福祉用具プランナーとしても福祉用具の導入に携われるようになり、利用者さんの在宅生活を支えています。ご相談があればお気軽に声をかけてください。



デンマーク便り...④⑤

ラスムッセン 京子

フランスでは Macron 政権の年金受給開始年齢を62歳から64歳の引き上げることを国会で強行採決したことにより、デモ隊と警察の衝突も激しいようです。

同じ EU 諸国でも年金制度には大きな違いがあります。デンマークの年金受給開始年齢は67歳から、でも年々高齢に移行して1980年代に生まれた人たちは70歳から支給されます。早期退職も可能ですが、それは長期にわたる肉体労働などで健康を害するような職種が対象となっています。でもこの権利に関する法律には制定されていないので一個人ごとに評価されます。現行の法律ではどうなっているのでしょうか？労働市場における勤労年数が決定的な意味を持つと説明されています。生まれた時期にもよりますが、早期退職の資格を得るには、42年から44年の労働市場での労働が必要です。2019年の議会選挙に向けた数カ月間、社民党は、最も肉体的に負担が大きく消耗している人や労働市場勤労年数が最も長い人が、退職後に少しでも多くの時間を持てるようにする、まったく新しい年金制度の概要を提示した。この制度は、ビール工場で働くアルネ・ユールにちなんでアルネ年金と名付けられ、その年の選挙戦では、この年金制度が最も熱い議論の対象となりました。反対派が「この制度は現実には根拠がない」

と主張したのに対し、社会民主党は「可能だ」と主張した。翌年、アルネ年金はデンマーク議会で採択されましたが、この制度は社会民主党が約束した通りのものだったのでしょうか。政治家たちは何を言ったのでしょうか？社会民主党が、遅くとも6カ月後に行われる議会選挙に向けて、主要な選挙公約の1つを提示したのは、2019年1月22日のことでした。最も肉体的に消耗している人も尊厳ある年金に値する」という見出しのもと、メッテ・フレデリクセン党首は「最も消耗している人、そして最も長く労働市場にいる人」を対象に、早期退職の権利を新たに導入することを提案しました。社会民主党は、制度のあり方についての提案を行わなかったのですが、代わりにガイドラインとなる7つの原則を提示しました。第一の原則は、「肉体的にも精神的にも最も疲弊している人を対象とする」というものである。デンマーク政界で何世代にもわたる最大のハッターリと呼ばれたフレデリクセンは、その公約を成功させたのでしょうか。他の原則のひとつは、主観的な評価によるものではなく、客観的な基準によって決定される（医師の評価）、本物の権利であるべきだということでした。メッテ・フレデリクセンは2019年5月1日の演説で、社民党が「最も消耗している人たちのための早期公的年金の権利を導入するために戦う」と宣言しました。一方、反対派は、旧法律に従い、長期による肉体労働でおきた身体的な障害のため、身体障害者年金という現状の形で良く、早期年金受給にするべきではないとしていましたが、結局勤労年数が長く肉体労働が対象者で早期に年金を受けられるようになりました。実際に何が変わったのかというのは名称が変わったという感じだけです。

次回地域交流カフェは「歌声喫茶」

4月18日開催。

歌とギター：濱田 靖彦さん(利用者家族)

八柱学習会

5月15日(金) 18:30～、幸樹会館2階

前回の参加者は7名でした。

▼次回学習会予定(「定例日：毎月第3金曜日」)

4月21日(金) 18:00～ あつまれ幸樹

「虐待について」

担当：さんしょう 岡本健吾 あんず居宅 田中和世

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

854KWh

幸樹会館電力使用量 5054KWh 自給率 16.89%



職員募集！非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり

問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550